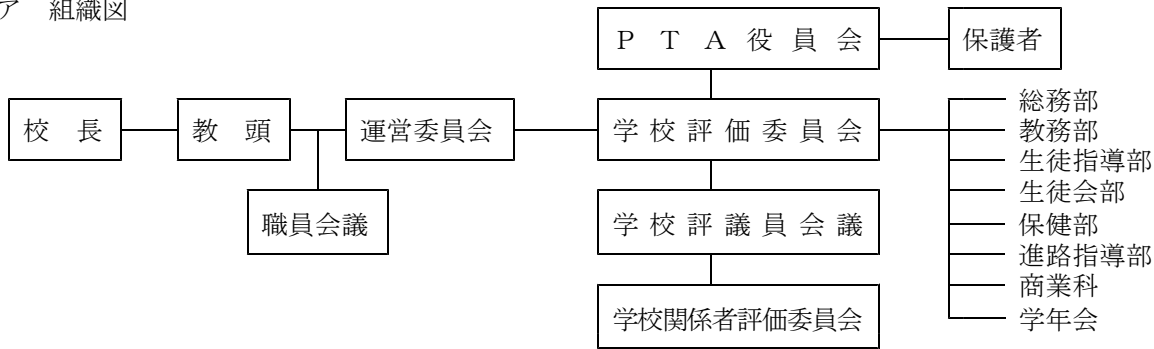


## 8 学校評価

### (1) 学校評価のための組織 ア 組織図



### (2) 学校評価の年間計画

実施時期	実施項目	具体的な実施内容	公表の方法
4月 ～ 6月	重点目標の設定	目標達成のための具体的な指導計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページへの掲載</li> <li>・保護者への提示（PTA総会）</li> <li>・第1回学校評議員会議及び学校関係者評価委員会の開催及び会議への提示</li> </ul>
7月 ～ 8月	教員・学校評議員・学校関係者評価委員による中間評価	1学期の取組状況と改善策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページへの掲載</li> <li>・保護者への提示（保護者会）</li> </ul>
10月 ～ 12月	生徒・保護者・教員による中間評価	アンケートを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページへの掲載</li> </ul>
1月 ～ 2月	教員・学校評議員・学校関係者評価委員による年度末評価	目標・計画に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回学校評議員会議及び学校関係者評価委員会の開催及び会議における取組の説明</li> <li>・学校評議員及び学校関係者委員による評価</li> </ul>
3月	評価のまとめ	教育内容・活動の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページへの掲載</li> <li>・校誌「ふきのと」への掲載</li> </ul>

### (3) 本年度の学校評価

本年度 重点目標	1 校訓の精神を重んじ、知・徳・体のバランスのとれた人材育成をめざす。 2 安心安全で生徒が主体的に伸び伸びと心身共に鍛えられる学校づくりをめざす。 3 地域社会の発展に貢献できる資質と態度を養い、より一層地域から信頼され必要とされる学校づくりをめざす。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	○保護者と協力による学校行事の運営 ○PTAの協力による環境整備	1 P T Aの役割を明確にし、参加しやすいよう努める。 2 P T Aと学校の協力による環境美化活動を定期的に実施する。	1 P T Aの方に丁寧に説明をし、行事を計画する。 2 P T Aと学校が協力し、環境美化に努める。
教務部	○学習に集中できる環境をつくる ○新教育課程に関する指導法の研究の推進 ○図書館の積極的な活用	1 教務指導等、あらゆる機会を捉えて学習意欲を喚起する。年間を通して、学習に集中できる雰囲気をつくりだす。また、教務カード、不要物品の指導を確実に行い、授業規律の確立に努める。 2 新教育課程に関するこれまでの指導について検証し、今後の具体的な指導方法を研究する。 3 「図書館だより」「新刊案内」等を積極的に発行する。	1 「頑張ること・学ぶこと」に自信と意欲がもてるように学習環境を整える。教務部として学校全体の意欲向上の雰囲気をつくりだす。また、教務カード、不要物品の指導を確実に行い、授業規律の確立に努める。 2 各教科において、新教育課程のうち、2・3年における設定科目の教材開発、シラバスの作成等をさらに推進する。 3 図書館の活用について、図書委員を通じて各クラスに情報を伝達する。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的生活習慣の確立</li> <li>○集団における規律の遵守、安全・安心な学校生活</li> <li>○交通安全指導を含む公共の場におけるのモラル・マナーの向上</li> <li>○いじめの早期発見、適切な事案対応</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 8時35分教室入室を呼びかけ、40分ST開始を、学年の協力を得て徹底する。</li> <li>2 学年団を中心に、頭髮・服装指導を継続的に行う。情報モラル向上を目指し、使用マナー指導を機会あるごとに行う。不審者情報を教室掲示し、注意を喚起する。</li> <li>3 登校時の交通安全指導・交通安全指導LTの継続、自転車通学者への注意喚起を行う。</li> <li>4 いじめアンケートの実施方法や、その後の対応のあり方について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 増加した遅刻指数を0.3以下に減らす。</li> <li>2 全職員による生徒指導の体制を維持する。頭髮は、学年生徒指導を中心に指導する。清楚な身だしなみ、情報モラルの向上を図る。</li> <li>3 交通安全指導を効果的に行なうとともに、公共の場でのモラル向上を図る。</li> <li>4 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。</li> </ol>
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主性を育てる学校行事運営</li> <li>○部活動を応援できる環境づくり</li> <li>○委員会活動の活性化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校行事に対し、生徒が主体的に活動できる環境をつくる。生徒アンケートにおける満足度(肯定的意見)が8割を目指す。</li> <li>2 部活動の広報を定期的に行い、学校全体で部活動を応援できる体制をつくる。</li> <li>3 執行部による企画運営に早めに着手し、各種委員会と協力し、定期的な情報発信を通して、生徒への意識づけを行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学年会・分掌・生徒代表との連携を密にし、全校で学校行事をつくり上げる意識を大切にす。</li> <li>2 試合予定・結果の広報(表彰を含む)を部顧問の協力を得て、確実に行う。また、定期的に活動参加状況の良好でない生徒に対して、丁寧な指導を行い、転部も含めた活動の定着を図る。</li> <li>3 執行部と各種委員会で協力しながら、全校で学校生活に携わり、運営しているという意識を身につけさせる。</li> </ol>
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科検診の結果を踏まえた生徒の健康管理</li> <li>○教室の環境衛生の充実</li> <li>○特別支援教育への取組</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒に歯科検診の結果を意識させ、啓発活動を引き続き行なう。</li> <li>2 常に換気を啓発し衛生状態を整え、集中力の持続性を高めるとともに感染症を減らす。</li> <li>3 学年と連携を図り、個別に支援が必要な生徒を把握する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特にう歯の多い生徒に予防の具体的方法を啓発する。</li> <li>2 昨年の環境衛生検査・二酸化炭素濃度は、灯油ストーブ使用教室では適正値を超えた。換気を適正に行なわせる。</li> <li>3 スクールカウンセラー・特別支援コーディネーターの協力を受け、学年と連携を図りながら、個別支援へつなげていく。</li> </ol>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効率的な進路指導部員配置とより学年と連携した進路行事への再構築</li> <li>○開かれた進路指導室</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学年対象の行事を担当会や学年会で練り上げてもらうことで、学年の要望を汲み、連携の取れた行事に近づける。</li> <li>2 面接指導割振や進路希望統計などの業務は専任担当者を配置することで年々よりよくなるよう工夫していく。</li> <li>3 進路資料等の整理整頓を行い、教員・生徒が調べやすい環境を整える。(継続)</li> <li>4 迅速な情報収集と提供を継続的に行う(進路希望、検査結果、指定校一覧等)。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 年間を通して担当者を固定した方が効率的な業務か確認する。</li> <li>2 無駄な部分と改善すべき部分を集約・確認し分掌内で検討する。</li> <li>3 企業及び進学先のパンフレットを1社あるいは1校ごとファイリングする。</li> <li>4 必要最小限の情報のみを収集することで手間と時間を節約する。</li> </ol>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総合 ビジネス科	○キャリア教育の一層の充実と ビジネスコミュニケーション 能力指導の確立、及び継続実 施するための校内・校外の環 境整備を図る。	1 事前・事後指導を充実するこ とでインターンシップのさらな る充実を目指す。 2 インターンシップや関連科目 を通し、ビジネスコミュニケー ション能力の向上を図る。	1 インターンシップの充実により、 ビジネススキルの定着と一層の自 己啓発を目指し、自己実現に資す る内容とする。 2 インターンシップや地域連携等、 実践を通してコミュニケーション 能力を身につける。
情 報 科	○情報科にふさわしい知識と技 能および情報モラルを身につ ける。	1 国家試験・検定試験を積極的 に受験する。 2 多くの作品作りを通し、情報 技術を身につけると同時に、コ ミュニケーション能力の向上を 図る。 3 情報化社会の一員としての自 覚を持たせる。	1 IT技術の動向をとらえ、時代に 即した知識の習得と作品制作を行 う。 2 高大連携、地域連携等を通して、 実践力を身につける。
1 年 学 年 会	○基本的な生活習慣の確立 ○学校生活における目標の設定	1 身だしなみ指導・環境整備・入 退室マナー・挨拶など生活習慣 の基礎・基本を指導する。 2 進路実現のため基礎学力の定 着を図る。商業科目に適応させ 検定資格の基本級を習得させる。 3 部活動の継続を奨励する。 4 年間皆勤160名以上を目指す。	1 身だしなみ指導・挨拶の励行を 徹底する。また、規律正しい生活 を守らせる。 2 学習不振者については、学習会 の実施等、対策を講じる。 3 部活動への不参加が続く前に面 接・指導を行う。 4 担任は生徒の健康管理、精神的 安定を日頃から注視する。
2 年 学 年 会	○豊かな人間性を培う ○自主自律の心を持ち学校生活 における、より高い目標に向 けて取り組む ○中心学年としての自覚を持た せ何事においても、積極的に 取り組ませる	1 心身を鍛え人格の陶冶に努め るとともに常に道徳心を磨く。 2 社会で活躍できる資質および 技能を身につけるためより高い 目標を設定して努力する。 3 学校生活の中で自発的・能動 的に活動できるよう育成する。 4 年間皆勤150名以上を目指す。	1 日々の学校生活で学業・部活動 に真摯に取り組む気風を作る。 2 社会に出ることを見据え、実践 に重きを置く。各教科と連携して 朝学の実施、基礎学力の向上を図 る。また進路実現に向けて情報提 供を行うとともに、早めに対策を 立て実行させる。 3 学校行事、学年行事に積極的に 参加させ、旺盛な活力を育成する。 4 教員は生徒の健康管理、精神的 安定を日頃から注視する。
3 年 学 年 会	○進路実現 ○自主自律の精神を培う ○思いやりの心を育む	1 生涯を見据えたキャリア教育 の充実を図る 2 進路実現に向け、進路指導部 と連携を図り、指導・助言を行 う。 3 自他の生命を尊重し、相手を 思いやる心を育む姿勢を養う。 4 年間皆勤150名以上を目指す。	1 生涯を見据えた広い視野から進 路選択できるよう、面談を重ねる。 2 面接指導・スピーチトレーニン グ・作文指導など自己表現能力を 高める。 3 高い目標を掲げ、自己の能力を 高める努力をする。 4 生徒の健康管理、精神的安定を 日頃から注視する。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え自ら学び自ら行動する力を持った人材の育成</li> <li>・実学教育を推進し、コミュニケーション能力を身に付けた人材の育成</li> <li>・安心安全な環境づくりと心身ともに健康な人材の育成</li> <li>・授業内容の改善と家庭学習の充実</li> <li>・キャリア教育・進路指導の充実と多様化する進路の実現</li> <li>・ボランティア・地域貢献活動等の取組</li> <li>・人権を尊重する精神を重んじ、互いを思いやり「いのち」を大切に作る心と態度の育成</li> </ul>		

(4) 前年度の学校評価  
ア 自己評価結果等

前年度 重点目標	<p>1 校訓の精神を重んじ、知・徳・体のバランスのとれた人材育成をめざす。</p> <p>2 安心安全で生徒が主体的に伸び伸びと心身共に鍛えられる学校づくりをめざす。</p> <p>3 地域社会の発展に貢献できる資質と態度を養い、より一層地域から信頼され必要とされる学校づくりをめざす。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<p>○PTA行事における保護者と学校の連携、協力体制づくり</p> <p>○PTAの協力を得て、環境美化</p>	<p>1 PTA・職員の役割を明確にし、連絡を行う。</p> <p>2 PTAと学校の協力による環境美化活動を実施する。</p>	<p>1 役割分担をわかりやすく説明し、連絡・調整を行った。</p> <p>2 多くの保護者が花壇作りに参加し、校内美化活動を実施した。学校行事に対して協力的で、楽しく活動を行った。</p>
教務部	<p>○学習に集中できる環境をつくる</p> <p>○新教育課程に関する指導法の研究の推進</p> <p>○図書館の積極的な活用</p>	<p>1 教務部講話等、日頃から機会を捉えて学習意欲を喚起する。年間を通して、学習に集中できる雰囲気をつくりだす。また、教務カード、不要物品の指導を確実にし、授業規律の確立に努める。</p> <p>2 新教育課程に関するこれまでの指導について検証し、今後の具体的な指導方法を研究を実施する。</p> <p>3 「図書館だより」「新刊案内」等を積極的に発行する。</p>	<p>1 教務部及び学年団の指導により学習活動に集中するための規律が確立できている。成績不振の生徒が例年と比較して増加したが、補充授業の実施等により学年末での成績不振者は減少した。</p> <p>2 教員研修の機会として、年2回の公開授業週間を設けた。</p> <p>3 本年度も図書委員会が中心となりビブリオバトルを開催するなど、読書活動推進に関わる取組を活発に行った。</p>
生徒指導部	<p>○基本的な生活習慣の確立</p> <p>○集団における規律の遵守、安全・安心な学校生活</p> <p>○交通安全指導を含む公共の場におけるモラル・マナーの充実</p>	<p>1 8時35分教室入室を呼びかけ、40分ST開始(チャイム鳴り始め)を徹底する。</p> <p>2 学年団を中心に、頭髪・身だしなみ指導を継続的に行う。 始業時・終業時のしっかりとした挨拶、入退室のマナー指導を徹底する。 情報モラル向上を目指し、使用マナー指導を機会あるごとに行う。 不審者情報を教室掲示・緊急連絡メール配信し、注意を喚起する。</p> <p>3 登校時の交通安全指導・交通安全指導LTの継続、自転車通学者への注意喚起を行う。</p>	<p>1 8時35分以降にロータリー付近を通過するのは特定の生徒であり、特に3年生が目立った。遅刻数は昨年度の同時期に比べ増加している。 (2学期末遅刻数255(H27-229、H26-194))2学期は、1・3年が増加した。精神面で不安定な生徒、健康管理ができていない生徒の増加が心配である。</p> <p>2 全職員の協力を得て、頭髪・身だしなみ指導は実施できている。ネットパトロールからの報告は16件、いずれもリスクレベル低ではあるが継続的な情報モラル向上への注意喚起は必要である。頭髪・服装指導の方法、身だしなみ段階指導、問題行動に対する指導措置の見直しが来年度に向けての課題である。</p> <p>3 交通事故報告は10件、ルールを守ることはもちろん、危険を回避し自分の身は自分で守る意識を持たせることが課題である。また、公共の場におけるマナー向上についても継続的な注意喚起が必要である。</p>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主性を育てる学校行事運営</li> <li>○部活動を応援できる環境づくり</li> <li>○委員会活動のより一層の充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校行事に対し、生徒が主体的に活動できる環境をつくる。</li> <li>2 部活動の広報を定期的に行い、学校全体で部活動を応援できる体制をつくる。</li> <li>3 執行部による企画運営に早めに着手し、各種委員会と協力し、定期的な情報発信を通して、生徒への意識づけを行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒会執行部が中心となって学校行事の企画、運営をすることができた。早めに取り掛かることができたが、学校全体で十分な理解と協力を得るにはさらに改善が必要である。</li> <li>2 部活動の大会予定を掲示することにより、大会の応援等を生徒に促すことができた。</li> <li>3 各種委員会の活動運営が十分に機能しておらず、執行部と委員会との協力体制を作る必要がある。</li> </ol>
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科検診の結果を踏まえた生徒の健康管理</li> <li>○教室の環境衛生の充実</li> <li>○清掃活動の充実</li> <li>○特別支援教育への取組</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 例年、入学生のう歯が少ないので、入学年度からう歯を増やさない啓発活動に特に力を入れる。</li> <li>2 常に換気を啓発し、環境衛生を整える。</li> <li>3 ワックス掛けを行なう場所を増やす。</li> <li>4 学年と連携を図り、個別に支援が必要な生徒を把握する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1・2年生向けに歯と口の健康教室を行った。次年度の結果を期待するとともに、対象者や教室の内容を工夫して継続したい。</li> <li>2 教室天窓の開放を促すことができた。ストーブ使用の教室は換気が不足しがちなので、啓発を続けたい。</li> <li>3 3年生HR教室にワックス掛けを行なった。</li> <li>4 特別支援教育委員会にかかる生徒が増えたことは、個別支援が必要な生徒を把握できたといえる。しかし、周知にとどまり、支援の仕方や内容に関して教員の理解が十分といえないところもみられる。今後理解が深まるよう努力したい。</li> </ol>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○段階的・具体的指導のための進路行事の再構築</li> <li>○開かれた進路指導室</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ①進路調査、②一斉指導、③面談指導、④進路ガイダンスの手順でマッチングを図る。</li> <li>2 校内指導を2年前半までに、外部ガイダンスを2年後半以降に集中させ、より段階的な行事に組み直す。</li> <li>3 コミュニケーション能力、基礎学力など必要な力を身に付けさせる具体的な指導を学年団と協力して行う。</li> <li>4 進路資料等の整理整頓を行い、教員・生徒が調べやすい環境を整える。</li> <li>5 迅速な情報収集と提供を行う(進路希望、検査結果、指定校一覧等)。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ①～④の手順でマッチングが成功し、四年制大学者増加や競争の高い大手事務職への積極的応募につながることができた。</li> <li>2 1年生のガイダンス内容を初歩段階の内容に変更し、全体指導とした。また学年に振り返り学習を兼ねたグループワークを実施することで内容を定着させることができた。</li> <li>3 2年生に「スピーチ・トレーニング」、1年生に朝学習を実施してもらうことができた。</li> <li>4 古い資料を破棄し、新しい資料を整頓することで進路学習環境を整えることができた。</li> <li>5 迅速な情報収集はできたが、提供まで実施することができなかった。</li> </ol>
総合ビジネス科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育の一層の充実とビジネスコミュニケーション能力指導の確立および継続実施するための校内・校外の環境整備を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インターンシップのさらなる充実を目指す。</li> <li>2 インターンシップや関連科目を通し、ビジネスコミュニケーション能力の向上を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事前研究等に時間を掛けることでインターンシップへの意識付けができ、事後指導として発表を入れることにより自分を振り返る機会ができた。</li> <li>2 挨拶はしっかりできている。しかし、授業の様々な場面で考えさせたことが実際活かされていない生徒も見られる。今後も継続して指導していきたい。</li> </ol>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
情報科	○情報科にふさわしい知識と技能 および情報モラルを身につける。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国家試験・検定試験を積極的に受験する。</li> <li>2 多くの作品作りを通し、情報技術を身に付けると同時に、コミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>3 情報化社会の一員としての自覚を持たせる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国家資格合格に向け努力を重ねているが、合格者数は、前年度より減少してしまった。2年生の受験者も少なかったため、引き続き呼びかけをしていきたい。</li> <li>2 作品作りをとおしてソフトウェア技術の向上およびコミュニケーション能力の向上も図ることができた。</li> <li>3 授業をとおしてTPOをわきまえた行動を指導してきたが、理解不十分な生徒も見られた。今後も継続して指導をし、意識向上に努めたい。</li> </ol>
1年学年会	○挨拶の励行 ○基本的生活習慣の確立 ○学校生活における目標の設定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 挨拶励行の徹底</li> <li>2 素直に話を聞く姿勢・態度を育成する。</li> <li>3 身だしなみ指導・環境整備・入退室マナーなど基本的生活習慣を確立するよう指導する。</li> <li>4 進路実現のため基礎学力の定着を図る。商業科目に適応させ検定資格の基本級を習得させるとともに、成績優秀者により高い意識付けを図る。</li> <li>5 部活動の継続を奨励する。</li> <li>6 年間皆勤150名以上を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 普段の挨拶は入学当初に比べ、良くなった。授業の始業時などの挨拶も継続して取り組んでいる。</li> <li>2 朝のST時などでもメモをとる意識をさせた。特にガイダンスなどの時には成果に表れている。</li> <li>3 身だしなみ指導、不要物品の件数が多かったため、今後も意識を付けさせていきたい。</li> <li>4 朝学は継続的に取り組んでいたが、積極的に取り組ませるまではできなかった。成績上位者に対する指導にも取り組み、クラス内で互いに切磋琢磨して勉強に励んでいる生徒も多数見られた。</li> <li>5 部活動にはほとんどの生徒が積極的に取り組んでいるが、登録しているだけで活動を行っていない者もいるので声かけをしていきたい。</li> <li>6 年間皆勤者は179名である。保健室利用も増えているので、生徒一人ひとりを意識して見ていきたい。</li> </ol>
2年学年会	○豊かな人間性を培う ○自主自律の心を持ち、より高い目標に向けて取り組む	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 心身を鍛え人格の陶冶に努めるとともに常に道徳心を磨く。</li> <li>2 社会で活躍できる資質および技能を身に付けるためより高い目標を設定して努力する。</li> <li>3 年間皆勤150名以上を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 思いやりのある生徒が多く、道徳心を向上させられる環境のなか、学校生活を送ることができた。しかし、自信が持てないために、消極的であったり、発信力がなかったり、叱られることを恐れる生徒が多いことが課題である。</li> <li>2 社会人になることを意識した言動を心掛けさせているが、同じ注意をすることもある。学校のルール、社会のマナー、お互いの意見や立場の違いなどを、理解して対応する力について最終学年の課題としたい。</li> <li>3 年間皆勤者は172名である。心や体に問題を抱えている生徒が多く、社会に出る前にストレスコントロール力を身につける必要がある。</li> </ol>

3年学年会	<p>○進路実現 ○基本的生活習慣の確立 ○向上心を持って、自己目標の実現を目指す</p>	<p>1 生涯を見据えたキャリア教育の充実を図る 2 進路実現に向けた指導・助言を行う。 3 進路実現後も人間としての豊かな自己の能力や個性を実現する。 4 年間皆勤160名以上を目指す。</p>	<p>1 1年次より進路講話やガイダンス等のさまざまな視点からのキャリア教育を実施した。進学・就職で迷っている生徒もいたが、年内にはほとんどの生徒が各自の進路を決定することができた。 2 具体的な進路先決定にあたり、進路指導部と連携しながらきめ細かい指導を心がけた。その結果、就職者を中心に進路実現に向けての意識を高められた。 3 12月末段階で就職希望者の内定率が100%となり、生徒の間で少し緊張感が緩む傾向が見られた。卒業後の生活を含めた、長期的な展望を持つように指導が必要であった。 4 年間皆勤者は159名であった。安易に欠席しない雰囲気は持続できたと思われる。</p>
総合評価	<p>今年度も「さらなる凡事徹底」を掲げて、教育活動に取り組んできた。ほとんどの生徒が基本的生活習慣は確立しており、生活面でも、学習面でも日々努力をしている。ただ一部に基本的生活習慣確立への自覚が少ない生徒もあり、情報モラルを含めた倫理観や道德意識の向上が課題である。また、特別支援教育委員会で対応を検討する生徒も増えている。教員間の連携を含めよりきめ細かい指導を実践する必要がある。さらに「いのち」を大切にすると態度を育成するような具体的な取り組みが必要である。</p> <p>本年度は3年生が8クラスであり、就職希望者も増加しているため求人を中心に心配していたが、昨年よりも求人増のため順調に就職活動ができた。今後は生徒の基礎学力及び進学者の普通科目の学力強化に向けた工夫を進めるとともに、様々な場面で生徒のキャリア発達を促すキャリア教育をさらに実践することが課題である。</p> <p>本校の重点目標である「地域貢献活動」については、本年度は年間40回程度の活動を行ってきた。地域の方々も本校の活動を認識し、評価していただいている。新たな連携先も増え、様々な所から本校へ声をかけていただいている。</p> <p>今後も保護者・地域・企業・行政等と連携し、より一層地域社会の発展に貢献できる人材を輩出する学校として教育活動を実践したい。</p>		

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣・授業規律について</li> <li>・ 本校における情報モラル教育について</li> <li>・ 本校における地域貢献活動について</li> </ul>
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生が一方的に教える授業スタイルからグループワークなどのアクティブラーニングを取り入れた授業が多く見られるようになった。</li> <li>・ 基本的な生活習慣はおおむね確立し、挨拶をはじめ地域での評判もよい。今後も欠席、遅刻、早退が少ない学校であるようにご指導いただきたい。</li> <li>・ 特別な支援を必要とする生徒や授業がわからない生徒も少なからずいる。さらにきめ細かい指導をお願いしたい。</li> <li>・ 地域貢献活動については、昨年度同様に取り組んでいただいた。地域からの東海商業高校に対する評価は高い。今後もさまざまな活動に生徒を参加させてほしい。</li> </ul>
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評価アンケートなどの分析をさらに進め、授業改善に役立て、よりわかる授業を目指す。</li> <li>・ アクティブラーニングなど生徒が主体的に取り組める授業スタイルのさらなる実践に心がける。</li> <li>・ 保護者、地域、企業、行政等の協力をいただきながら、インターンシップ、地域貢献活動を継続的に取り組んでいく。</li> </ul>
<p>その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活や授業のなかに生徒達が独創性を培える場面を多くつくってほしい。</li> <li>・ 生徒たちが教え合っている場面が授業で多くみられた。授業の雰囲気が良かった。より一層、学力を向上させる「わかる授業」の取組をお願いしたい。</li> <li>・ 早い時期から中学生にPRをする体制を整えてほしい。部活動や中学校訪問などを利用しながら、もっと積極的に中学校と関わりをもってほしい。</li> <li>・ 東海商業ならではの活動を今後も続けながら、地域を活気づけてほしい。</li> </ul>
<p>学校関係者評価委員の構成及び評価時期</p>	<p>構 成 P T A代表（顧問、副会長2名）、地域代表</p> <p>評価時期 平成28年6月23日、平成29年3月15日</p>

(5) 経営管理上の問題点等

- ・ 昨年度、体育館の天井が整備された。